

平成 30 年度第 1 回富津市民委員会 グループ 2 討議結果（要旨）

1 開催日時等

開催日時	平成 30 年 11 月 25 日（日） 午後 1 時 30 分～4 時 10 分
場 所	富津市役所本庁舎 5 階 502 会議室
討議事項	富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標 2
出席者	富津市民委員会委員 12 名（コーディネーター）武次治幸 （事務局）田内企画係長、坂本主事
傍聴人	4 人

2 討議事項

総合戦略の基本目標 2（くらしやすく、移住しやすい環境づくり）に記載している次の事項について、討議を実施。

- (1) 基本的な施策の方向
- (2) 課題
- (3) 地域・民間ができること
- (4) 市民ができること
- (5) 数値目標

3 討議内容（要旨）

(1) 基本的な施策の方向① 交通利便性を高める

基本的な施策の方向、課題（市への意見を含む）	
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・今現在もバスはすごく不便。一応走ってはいるが、乗っている人も少なく、利用している人も少ない。バス会社に言わせると乗る人が少ないという話になると思うが、だから走らせないということで悪循環になっている。 ・富津の奥の方から病院に行く場合、J R とバスの接続の時間がすごく合わなくて待ち時間が多く、タクシーの使用を検討せざるを得ないため不便である。 ・金谷在住だが、娘は車の運転ができないので、どうしても J R の利用となる。しかし、J R は風が吹くと止まる確率が高く、止まってしまうと仕事に行けなくなってしまう。こういう場合、以前は、その時間帯に合わせて日東交通などで臨時バスを出し、湊まで移動していた。 ・J R については、単線で酷い時は 1 時間に 1 本電車がやっと来るような状況であり不便だと思う。そこで J R に、どれくらいの乗客数が見込めるのであれば本数を増やせるのかを確認し、その数値を公表すべきだと思う。公表することで、どれだけ乗ればよいかという目標が分かり、市民が協力できるか否かは別として、その目標に対して一人ひとりが頑張ろうという気持ちになると思う。

	<ul style="list-style-type: none"> ・君津駅のすぐ近くの塾でアルバイトをしている。富津市の生徒もいるが、授業が終わり帰宅する際に、電車が止まっている場合や遅延している場合、1時間に1本しかない電車だと、バス利用の選択肢が出てくるが、夜9時台になると大貫方面に帰る便が無いというのが現状で、保護者がわざわざ迎えに来る。夜の便や午後9時あたりのバスを増やしてあげて欲しい。 ・関豊地区は、上総湊から戸面原ダムまでの路線があるが、バス停から家までが遠く、利用できない人がいると思うので、もう少し路線を増やしていけば利用できると思う。 ・高速バスは竹岡や湊に停まるが駐車場が無いから結局、富楽里や君津まで行ってしまふ。また、家から駅も近ければ、行きは送ってもらい帰りはいい電車があればそれで帰れると思う。 ・青堀駅が最寄り駅だが、バスはあまり走っていないようなので、基本は車利用。電車で遠くに行くときは駅まで車で行き駐車するが、青堀駅は駐車場が無いので、君津駅まで行ってしまふ。
高齢者対策	<ul style="list-style-type: none"> ・これから高齢化社会になるが、実際、バスが無くてどこにも行けないということも耳にする。 ・お年寄りには家からバス停までの距離が遠いと使わなくなると思う。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・市民一人ひとりが公共のものを使うという主体性を持たない限りは公共交通の不便さは改善されないと思う。 ・他の民間事業者との連携として、近隣や富津市内の交通関係以外の会社に対し、社員の公共交通による通勤を要請することや、そのように対応した会社に補助を出すことなどを検討するのはどうか。 ・民間事業者との連携として、市はとにかく日東交通かJRに事業を全部丸投げしているように感じるし、そうなれば当然民間企業側としては利用者がいなければ走らせられない、採算が合わないというふうになってしまう。 ・コミュニティバスが走ってくると良い。 ・富津市全体としてどういうふうなまちづくりをしていくかが重要だと思ふ。富津市の特定の地区だけではなく、富津市全体として、農業や林業なども含め、全体が良くなるような道を探るのが将来的には良いのではないかと思ふ。
地域・民間ができること	
民間企業所有バスの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・バスと宅配業者の車が連携して人と物を運ぶような事例をテレビで見たことがあるので参考にしたい。 ・民間企業として、金谷の「ザ・フィッシュ」がマイクロバスを所有していると思うが、利用していない時に活用する、また、観光協会にマイクロバス活用に対する補助をするなどできないか。しかし、そのような時のマイクロバスを運転する方の想定はできていない。 ・金谷の福祉施設「金谷の里」も利用者送迎用の大きなマイクロバスがあると思うので、利用されていない時間帯の活用が良いのではと考える。 ・金谷のフェリー乗り場にもゴルフ客の送迎バスがあるので、空いている時間に活用できれば良いと思ふ。

	<ul style="list-style-type: none"> ・金谷は観光地にもなっており、観光客に迷惑をかけないために、風が強いときの対応について、日東交通などと何か連携していければフォローができると思う。
市民ができること	
乗合・ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ・乗合の案として、私の母が高齢で運転ができないので買い物は私が連れて行くが、その際に近所のお年寄りや独居の方にも声掛けができれば良いと思うが、なかなかできていない。車を出すボランティアと利用したい高齢者などをマッチングができればうまく回っていくのではと思う。
その他（体験談等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の子供が自転車通学をしているが、大堀の森田建材付近のT字路には横断歩道はあるが信号が無い。横断するため自転車が止まっても車両は自分優先で止まってくれない。信号設置や地域・警察の方が立って、朝の通学時間帯だけでも誘導してもらいたい。 ・子供が低学年の時に、自転車で、小学校の通りの道路がガタガタで転んでしまったことが何度もあり、けがをしてしまったので道路を改善して欲しい。 ・富津にはマラソンランナーが多く、早朝4時頃に走っている人もいるようなので街灯を少し増やしてはどうか。 	

(2) 基本的な施策の方向② 住環境の整備

基本的な施策の方向、課題（市への意見を含む）	
公園の整備・管理	<ul style="list-style-type: none"> ・栃木県の益子から引っ越したが、富津を選んだ理由が近くに小中学校も高校、小さな病院もあり、君津中央病院にも車で行ける距離であることだった。また、主人が焼き物やっているため、山の中で生活をしているが、富津は海もあって、湊には遊歩道や広い駐車場がある公園もあるが、あまり整備されていない、それがすごくもったいないと思う。何かイベント、朝市、フリーマーケットなどを行った方が良いのではと思う。 ・公園を使っていなければ作る必要はないのではないかと思う。無理して使う必要はないと思う。区画整理や都市計画に伴い義務的に作ったものだからそもそも使う目的ではないのではないかと思ったので、無理して使わなくてもいい気がした。 ・公園は子供や母親もたまに使うが、草がぼうぼうで入ることができなかったことや、少し壊れているところがある。誰が管理者なのかも園内を見ても分からないため、子供が遊んでいる隙間の時間に草を取ろうと思うが勝手にはやれない。管理者が分かれば、もっとみんなできれいにもできるし、時間がある人が草取りなどもできるのではないかと思う。県、市、地域で管理する公園など様々であるようだが、管理者が分かりづらいので明確にして欲しい。
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい公園のテニスコートも改修されて、すごく使いやすいが、利用者が少ないと感じる。やはり情報発信だと思う。市民の方だと安く利用もできるので、もう少しアピールして欲しい。

空き家	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家や住んでないところが増えてきている。 ・ここ数年で金谷には若い方がすごく増え、「まるも」のシェアハウスで過ごしている方もいる。住むところが少なく空き家を探している状況のようだ。
住環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・3、4年前と比較して富津市の住環境が若い人たちに住みにくい環境になってきたと感じているが、私の近所には働く場所がほとんど無く、シャッター通りになっており、そうすると若い共働き夫婦は外に出ていかざるを得ない。 ・ちょっとした服、生活に必要な布団、色々な雑貨も含めて今富津イオンから無くなっているの、少し住みやすい環境ではなくなったと思う。やはり富津市から出ていかないと住めない環境なのではないかというところがここ3年間で変わったことかと思う。 ・よくインターネットで買い物をするが、やはり実物を見たい物もあり、富津イオンの品揃えが減った話を考えると、少し遠くまで足を運ばないと行けなくなったなど感じる。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・3、4年前と比較したときに、「富津市の住環境が若い人たちに住みやすい環境になった。」と感じる委員は少なく、「変わっていない。」と感じる委員は5、6人、「悪くなった。」と感じる委員は5、6人。 ・小中学校の統廃合を実施している状況で、それでも市外から来てもらうためには何か他とは違うことをやらなければ住みやすい環境とはならないと思う。 ・今でも富津市は住みやすいと思っている。買い物の不便さの話があるが、欲しいものはインターネットで買えるので、別にそんなに外で何かしたいとかもないので、逆に静かでいいなど感じている。 ・私は東京の大学に通っており、アクアラインバスを利用して東京の方に行くが、片道90分くらいで着くので、利便性はそんなに悪くないという印象がある。周囲には富津から東京へ通っている知り合いも多く、意外と利便性は悪くないと感じる。
地域・民間ができること	
該当意見無し	
市民ができること	
該当意見無し	
その他（体験談等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・富津市がどうやって自活していける市になるかが重要だと思う。自活していくためには、エネルギーと食糧、この2つが自由になれば、自活していけると思う。 ・金谷は未婚者が多い。やはり漁師のところに嫁ぎたくない気持ちもあるのかもしれない。金谷では婚活イベントなどやっていたが、そこからなかなか続かない。 	

(3) 基本的な施策の方向③ 移住者受け入れの環境整備

基本的な施策の方向、課題（市への意見を含む）	
移住者等とのコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・移住者は、昔から住んでいる方とのコミュニケーションは重要なのだろうか。どれくらい問題視しているのかが気になる。 ・昔から住んでいる方とのコミュニケーションは、やはり引っ越してきたばかりは元からいた人に聞きたいことがあると思う。「まるも」については結構沢山で来ているから、多分新しい人が来やすい状況だと思う。 ・仕事をリタイヤし、知り合いのいない地にポツンと住むと、交流の場が無いとなかなかコミュニケーションを取れない。 ・大学進学により一時的に地元を離れたが、自分が知らない場所での生活では、その地域のルールなどを押し付けられそうな感じがあり、あまりコミュニケーションを取りたくなかった。コミュニケーションは、どちらかという、その土地のルールだけを分かるようにすることでいいと思った。 ・主人は婿養子で田舎暮らしは初めてであり、最初は、「窮屈だ。」と言っていた。消防団への勧誘や地域の行事への参加依頼について断ると、陰口を言われるような雰囲気が出た。しかし、子供が生まれてからは、子供と一緒に祭りなどに参加し始めると、そこで交流ができ、主人も今地元で馴染んで過ごせている。
外国人への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・移住者受け入れについて、富津は肌の色が違う人はそんなに見ないが、そのような方も受け入れるしかないと思う。 ・移住者について、これから外国人労働者が来る時代になるので、母国語の情報提供などもやってもらいたい。 ・観光について、来てもらうには日本人相手ではなく、外国人に対して英語などの表記をした方が良いと思う。
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・移住者受け入れについて、どんなに良いことをやっても、他で知られていなければ何の価値もない。アピールするのが大事だと思う。 ・人口減少については、富津市は何が良いかというのを発信していかなければならない。君津、木更津と同じことをやっているとだめだと思う。ホームページも手段としては古い。もっと新しくした方がよい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・金谷には「まるも」を通じて移住者が集まる状況、金谷石の歴史、金谷石を使ったピザ屋など、生活環境が整ってきて、金谷の取組が面白ということで大学生も興味を持ち、移住者が結構いると思う。 ・私の世代はもう子供が中学生や高校生になり、お金がかかるようになってきているため、働く場所を探しているが、どうしても君津、木更津まで行かないと自分の希望に合う職場が無い。できれば富津市内で働きたいと思っている。市役所の中に働く場所についての相談や仕事を提供してくれるコーナーがあれば、市内で職を見つけて働きたいと思う。 ・現役世代が増えるためには、仕事がないと人は来ない。必ずしも富津市内に職場が無くても通える範囲であればいいと思う。市外で

	<p>稼いで富津市で暮らすという考えも良いと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富津市は割と土地が安い、あまりにも安さだけを売りにして人を呼び込んでも、安さに飛びつく方は低収入者や仕事をリタイヤした年金暮らしの方の可能性もある。人口だけ増えても使う税金がその分増えればプラスには転向しないと思うので、労働人口を増やすこと、現役世代を増やすことを考えていかなければならないと思う。
地域・民間ができること	
移住者等との関わり方	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の奉仕活動への参加については、アパートであればそのアパートの大家さんや管理会社が入居者に対して入居する段階で、地域活動の紹介などや分からないことがあった場合に連絡することができる地区の方を教えるべきだと思う。 ・金谷では、区長会長、区長、そして各部落の班長がいるが、班長が集金などを行い、引っ越してきた方にも声を掛け集会などに誘っている。ただ、それが若い子にはお節介に捉えられてしまうこともあるが、移住者との接点として、最初の入り口は班長からの声掛けからでなければなかなか地域の人と話すきっかけはないと思う。 ・民間や地域ができることとして交流ばかりではなく、来てくれた方が考えている近所付き合いなどを求める度合いなどに合わせて対応し、広い心で受け入れていけば良いと思う。
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・地域、民間、市民の情報発信について、観光協会があるが、知っている人はそんなにいないのではないかと。観光協会のホームページに地域の情報などを載せると、外国人はわざわざそれを見に来る時代になっている。また、富津市の名所などに顔が抜いてある記念撮影ボードを設置してはどうか。
金谷の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・金谷の移住者への取組については、観光協会だけではなく商工会も一緒に取り組んでいる。やはり金谷の商店街も少し寂れてきているので、どうやったら活性化してお客さんが来てくれるかを努力していると思う。 ・金谷の商店については、お年寄りが多いから、田舎ならではの電話注文による無料の配達サービスがあり、それが小さな商店の良いところだと思う。そこを利点にして何か先に進めていけばよいが、どうしても大きい店舗などができてしまえば、一括で何もかも揃うので小さな商店の客は減る。確かに寂れてはきているが、商工会の方や青年会の方たちも一緒に頑張っている。金谷の商店の特色として、小さいワゴン車に食べ物を載せて、自力で店舗まで来られなそうなところに行き移動販売を行っている。こういうのがもっと広がるといいのかもしれないが、コスト面で少し大変なようだ。また、大手のセブンイレブンやローソンが始めてしまえば、金谷の商店にも影響がでると思うが、買い物難民には利点だと思う。
市民ができること	
活動の場	<ul style="list-style-type: none"> ・以前金谷のカナヤベースで市場があり商品を販売したが結構売れた。鋸山ロープウェイに行く観光客が通る場所なので、そういう方が買っていった。そのような取組は面白いと思う。

その他（体験談等）

- ・RESAS（リーサス）という地域の解析などを行っているシステムがあり、政策アイデアコンテストを実施している。富津市も新しいものを作り上げていくためにチャレンジするのはどうか。

（４）基本的な施策の方向④ 生活環境の保全

基本的な施策の方向、課題（市への意見を含む）

有害鳥獣	<ul style="list-style-type: none">・私の住む地区の農業従事者は主に高齢者だが、秋の収穫時期になってイノシシやシカが田んぼを荒し、だめにしてしまい、離農または農業自体を辞めてしまう方がいる。しかし、土地改良賦課金などは払い続けている。有害鳥獣の問題は複雑で、自分のところで追い払っても隣の田んぼに逃げ、それがまた君津の方に行き君津で被害を受ける。富津市だけの話ではなく、千葉県や国のレベルでイノシシだけは駆除してもらいたいと思う。また、農作物だけではなく人にも夕方になると飛び出てくるため、月に何件かはそういう交通事故があり、まだ死亡事故は聞かないが、とても危険。・有害鳥獣の駆除については、富津で捕っても君津の有害鳥獣がくる。だからみんな一斉にやらないと効果は無い。・有害鳥獣は利口なので、一度罠にかかると次はなかなかかからない。私も県に相談に行ったが、動物愛護法の関係で、たとえば、「捕獲器は有害鳥獣の足を痛めるため使用できない。」ということだった。・サルはまだかわいいものだが、イノシシのお米への被害は酷い。進入防止に電柵や網を使っているが手入れが大変。今では富津市役所付近にも少し出てきているようだ。もう手遅れかもしれないが、駆除してもらいたい。
ごみ出しのマナー	<ul style="list-style-type: none">・ごみの出し方について、結構年配の方の分別マナーが酷い。・結構若い人の方が学校で分別やリサイクルについて教わるので、子供の方がしっかり出来ている。・君津市はゴミの分別が非常に厳しいが、富津市は優しい。・富津市民について、ゴミ出しの曜日は守られていると思うが、中身の分別が出来ているかは分からない。
その他	<ul style="list-style-type: none">・私の住む地区では、ゴミ置き場を荒らすカラスの被害がある。・有害鳥獣は昔なら捕まえて食べたと思うが、今はみんな舌が肥えているのであまり食べない。

地域・民間ができること

ごみ出しのマナー	<ul style="list-style-type: none">・新しく越してきた方で自治会に入っていない場合、自治会共有のごみ出し場は利用しづらいこともあると思う。しかし、そのような方が3交代勤務などを理由に前日の夜中にゴミを出しているが、そうすると夜中に野良猫やカラスがゴミを散らかす。自治会に加入し、なおかつルールを守り、お金を出してごみステーションを作った人たちからすれば不満に思う。ただ、その一方でアパートの入
----------	--

	居者専用のごみ出し籠に、居住者以外の方が捨てているのをよく見かける。課題は、収集場所の管理などに改善の余地があると思う。
市民ができること	
ごみ出しのマナー	・ごみのポイ捨てについて、私の家は国道沿いだが、路面に投げ捨てられていた割れた瓶については、国道になるが私が掃除しなければと思い掃除した。
その他（体験談等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・シカが電車にぶつかり角がとれなくて遅延が起きたことがあった。 ・私は富津に越してきて、地域の人みんないい人で、地域として何か購入する場合には声をかけてくれる。すごく地域の人に助けられている。 ・子供と車に乗っていて際、前の車が窓を開けておもむろに吸い殻を捨てた。それを子供が見ていて、「あれは誰が掃除するのだろうか。」と言っていた。 	

(5) 数値目標 『これからも富津市に住み続けたい』の割合（市民意識調査）

数値目標
<ul style="list-style-type: none"> ・現総合戦略の目標値である 85%のままで良いと思う。 ・平成 31 年の目標値の妥当性については、現状低くなり、目標値まであと 11%ということだが、少なくとも目標値としては 85%を目指すべきだと思う。もちろん目標値なのでそこに到着しなければという気概は必要だと思うが、低すぎってしまうのも問題だと思う。 ・現実的などころを見ていくと、現時点から 85%に上げるには 10%以上も上げることになり、そこまで急激な変化は難しいと考えるので、80%までがよいのでは。